

申請者	佐賀県佐賀市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	64,000千円 (20,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域住民同士による子育ての「頼みたい・手伝える」を可視化できる「子育てシェアアプリ」を佐賀市公式スーパーアプリと連動させて導入することで、当事者間でのスムーズなマッチングを可能にし、公助では届かない隙間を共助によって補うシステムを構築して子どもを産み育てやすい環境をつくり、人口減少の抑制を図る。また、「子育てシェア」による「共助」をきっかけに地域コミュニティを強化するとともに、市内企業と連携しながら地域課題を継続的に支え、地域経済を担う人材を育成することで、地場産業の人材確保に資する取組とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域住民同士による子育ての「頼みたい・手伝える」を可視化できる「子育てシェアアプリ」を佐賀市公式スーパーアプリと連動させて導入する。アプリ利用者として、子育て支援を支える地域の担い手を発掘・育成し、市内企業と連携しながら子育てシェアの体験型イベントを実施することにより保護者や地域住民を巻き込む取り組みを行う。この事業を通じて子育て世代が働きやすい環境を整え、子育てと仕事を両立しやすいまちを実現し、地域の企業の生産性の向上及び就業者の増加につなげる。					「子育ての困りごと」を「住民のチカラ」で解決！ 子育てシェアを『アプリ』で管理 リクエスト、調整、履歴管理をデジタル化し、当事者間によるスムーズなマッチングを実現 知人・友人 近所の住民 ボランティア 学生 子育て支援活動者 子育て中の保護者 こどもと保護者 体験型イベントで地域住民を巻き込む 担い手となる人材を発掘し、育成する 社会で子育てをシェア	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・子育て支援の担い手となる人材を発掘、育成（委託料）7,200千円 ・子育てシェア体験、地域住民向けイベントを実施（委託料）6,800千円 ・子育てシェアアプリを導入し、市公式アプリへ連携（委託料）6,800千円						
主なKPI	①佐賀市の人口（▲4,017人） ②子育てに不安や負担を感じる市民の割合（+3%） ③本事業における子育て支援成約件数（+145件） ④本事業を通じた子育てシェア登録者数（+800人） ⑤佐賀市産業支援相談室の創業者数（+6人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.saga.lg.jp/shisei/sagashioshiru/2/3/4044.html